

令和6年7月22日

貝塚市議会議員 食野 雅由 殿

全国地方議会サミット 2024 参加報告

公明党議員団

前園 隆博

堺谷 裕

第1日目

日時 7月10日(水) 13時～17時30分

場所 早稲田大学国際会議場井深大記念ホール

10時02分 セッション「生活を支える強い地域を議会がつくる」

早稲田大学名誉教授 北川 正恭 氏

10時30分 パネルディスカッション

「能登半島地震被災地の議会からの報告」

輪島市議会議員・元議長 椿原 正洋氏

珠洲市議会議員 番匠 雅典氏

能登町議会議員 金七 祐太郎氏



能登半島地震を経験したことで、議会活動の課題や改善について、今回の地震規模は、政府が支援本部ではなく、対策本部を立ち上げて対応すべき事案。

発災直後～3日間、1週間～4週間、1か月単位での支援が必要。

「命を守ることから生活すること」へ変化、支援が停滞しないように、体制を整える。

デジタル化の推進 災害備蓄倉庫の設置 輪島市地域の防災計画の見直しなど

14時40分 講演「熊本地震の経験と自治体間支援の現場から」 熊本市長 大西 一史 氏

1. 「令和6年能登半島地震」熊本市の支援

その他の支援について ○キャンピングカーの導入支援 ○災害対応従事者への簡易ベッドの提供 ○能登半島地震の被災者を対象に市営住宅を無償提供 ○熊本市への避難者に対する支援メニューのとりまとめ ○ふるさと納税災害支援代理寄付の受付 ○飲料水の支援

15時10分 講演「能登半島地震と珠洲市の状況と対応」

珠洲市長 泉谷 満寿裕氏

15時20分 対談 大西 一史氏×泉谷 満寿裕氏

16時00分 防災DXの最前線と今後の展開」

国立研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災情報センター長

防災DX官民共創協議会理事長 臼田 裕一郎氏

1. 防災 DX のこれからの展開に（何が必要か）

- ①災害時に使用する「基盤的データ」の浸透・定着・徹底
- ②情報を「インフォメーション」から「インテリジェンス」へ
- ③「災害派遣デジタル支援チーム」の組成

BDX が現地活動で苦勞した点 地元の力の重要性

地元での呼称・地名、避難所の名前が公式名ではなく、通称や旧称で呼ばれている地名の読み方がわからない、震災対応を踏まえた課題認識、地元自治体の理解、新しい取り組みに対し、慎重にならざるを得ない（住民と接する立場として当然）地元住民への説明

16 時 30 分「災害時におけるドローン・人工衛星など最新テクノロジー活用の可能性」

佐賀県庁・JAXA・総務省地域情報化アドバイザー

宇宙公務員 円城寺 雄介 氏

1. ドローンによる空撮と物資搬送を当たり前に 2016 年の熊本地震では、熊本県西原村などで地震による被害状況をドローンで空撮。避難所で住民の皆さまに、空から見た街の現状や家屋の状況、地割れの様子などをみてもらい、「地割れはこうなっていたのか」「屋根のビニールシートはちゃんとしていて安心」など、感謝のコメントをいただいた。2017 年には佐賀県内の消防と合同で、①ドローンによる空撮、②ドローンによる医薬品搬送、③ドローンによる救助ロープの対岸輸送の本格的訓練を実施。さらに九州各県が参加する総合防災訓練でドローンを夜間に初活用

17 時 00 分 講演「東日本大震災の経験から」

元総務大臣 片山 善博氏

リーダーシップと専門的知見 ○ 平素の準備（防災訓練など）
行政機関の縦割りと住民の視点 ○ 検証と教訓



第 2 日目

日時 7 月 11 日（木）10 時～16 時

場所 早稲田大学井深大記念ホール

10 時 00 分「非常事態への備えと議会の対応・役割」法政大学 総長 廣瀬 克哉氏

自治体としての事前の備えの促進がまず第一

非常事態にはフェーズがあり、必要な対応は変わっていく 発災期、応急期、復旧期
フェーズごとの役割と注意点を計画に 非常時の自治体の中に議論の場を開いておく

10 時 30 分 パネルディスカッション コーディネーター 法政大学総長 廣瀬 克哉氏

「東日本大震災の経験をふまえた災害対応」 久慈市会議長 濱欠 明宏氏

災害対応マニュアルから議会 BCP（議会業務継続計画）を令和 2 年に策定

今後、訓練の実施、ICT の活用、PDCA サイクルの実践を行う。

「大規模復興と議会のあり方」 陸前高田市議会議員・元議長 福田 利喜氏
議会災害対策行動マニュアルの作成、議決要件に震災復興計画を盛り込んだ。
震災復興計画検討委員会への参画、監視、検証を行う。

「住民避難・離散と自治体・議会の活動」 双葉町長 伊澤 史朗氏
令和2年3月4日避難指示解除。令和4年6月双葉町復興まちづくり計画（第3次）を策定
中間貯蔵施設を苦渋の決断で受け入れた。

11時30分「デジタル・生成AIを活かす」 デジタルハリウッド大学教授 橋本 大也氏
Chat GPT Copilot の使い方等についての説明があった。

13時00分「議会改革の最新トレンドとトピック」
「議会改革の軌跡と展望 - マニフェスト選挙から20年、その先に!-」
大正大学 教授 江藤 俊昭氏

議会改革の第一ステージ 議会基本条例に結実
第二ステージ 議会からの政策（形成）サイクル
議会改革が提起する新たな課題 非常事態への対応など

13時20分 パネルディスカッション「議選監査委員の活性化と議会・監査委員事務局の連携」
コーディネーター 可児市議会議員・議選監査委員・元議長 川上 文浩氏
コメンテーター 大正大学 教授 江藤 俊昭氏
可児市監査委員事務局長 平田 祐二氏
あきる野市議会議員・議選監査委員・元議長 子籠 敏人氏

議選監査委員の意義と使命を改めて考える

- ①代表監査委員との連携強化
- ②監査計画のブラッシュアップ
- ③精力的な事例研究と勉強会
- ④オンラインの活用
- ⑤監査等の拡大と学校監査の導入



監査実施回数、実施時期、対象部署も市によって様々。可児市では課ごとに通年で実施。
監査委員と事務局の連携 監査委員の行政に対する理解度が大きい。議選監査委員の提案により、
議会での情報共有、現場監査の実施、リモート監査などの改革が進んだ。

14時15分「委員会代表質問を活かす」

法政大学 教授 土山 希美枝氏

委員会代表質問 具体的な政策課題を党派を超えて共有する。委員会意思の形成と議会の機構としての行政との対峙

甲賀市議会 副議長 田中 將之氏

委員会代表質問 6月、9月、12月の定例会において、通告があれば実施する。

目的 市民の思いの実現には、各議員・各会派の意見や要望だけでは実現が難しいが、委員会の所管事項で十分に調査・議論し、その内容について委員会代表者が議場で質問する。委員会の総意として政策提案を行うことで、提案の実効性と議論の連続性が期待できる。

別海町議会議長 西原 浩氏

議会活性化の歩み

平成28年5月第一期議会活性化計画を策定。令和元年第2期活動計画の策定時に議会サポーター制度を導入。令和元年8月に一般質問検討会議を設置。タブレット端末の導入。

令和3年9月議会基本条例の制定。

15時15分 早稲田大学マニフェスト研究所

「議会改革度調査」から

早稲田大学マニフェスト研究所

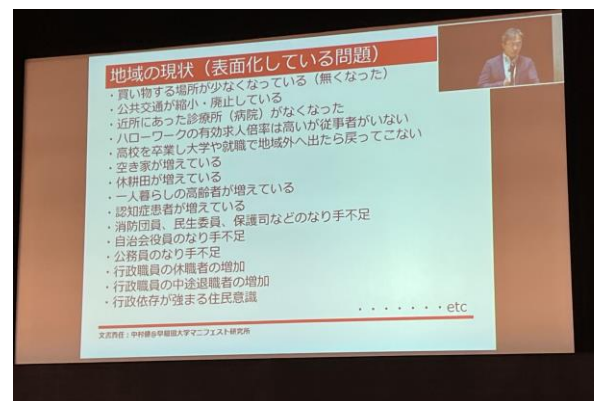
事務局長 中村 健氏

議会活動は内部改革から地域貢献へ

真の住民参画のための議会情報の共有が必要。具体的な地域課題の解決や住民の困りごとの解消。

地域の未来創造のための議会活動とはなにかから議論し、議会運営や体制そのものの見直しが必要。

16時45分 クロージング



【感想】

2024 年 7 月 10 日と 11 日に早稲田大学国際会議場井深大記念ホールで開催された全国地方議会サミットに参加し、大規模災害における非常事態への備えについて学び、地方自治体の連携強化の重要性を再確認致しました。

以下は今後の議会や地方自治体が迅速かつ効果的な対応を行うために必要な備えについての概要です。

1. 災害対策の計画策定:

- ・ 地方自治体は、大規模災害に備えて適切な災害対策計画を定期的に策定し、市民への情報提供や避難計画などを整備する必要があります。

2. 訓練や演習の実施:

- ・ 災害時の迅速な対応を確保するために、地方自治体は定期的な訓練や演習を実施し、関係機関や住民との連携を強化することが重要です。

3. 情報共有と協力体制の構築:

- ・ 地方自治体や議会間での情報共有を円滑に行うために、適切な情報伝達システムや連絡体制を整備し、協力体制を確立する必要があります。

4. 技術やデータの活用:

- ・ 迅速な対応には、最新の技術やデータの活用が欠かせません。地方自治体は、デジタル化やドローン技術などを積極的に導入し、災害時の情報収集や被害状況把握を効率化する必要があります。

5. 市民への啓発と教育:

- ・ 地方自治体は、市民への防災意識向上や避難時の行動指針の普及を図る啓発活動や教育プログラムを展開し、住民の協力を得る取り組みも重要です。

これらの備えを整えることにより、地方自治体や議会は迅速で効果的な災害対応や危機管理を行い、地域全体の安全と安心を確保することが可能となります。

今回の全国地方議会サミットでの講演は非常に示唆に富んでいました。東日本大震災の教訓を元にした災害対応や大規模復興、議会の役割についての話は重要であり、将来の災害への備えや地域の再建に向けた取り組みが必要であることを改めて認識しました。

聴いた講演は非常に興味深く、災害対応や復興、デジタル技術の活用など、重要なテーマが幅広く取り上げられました。特に議会改革の最新トレンドや監査委員の活性化に関する議論は参考になりました。地方議会がより効果的に機能し、住民の声に応えるためには、これらの取り組みが重要であると感じました。今後も地域社会の発展に向けて積極的に取り組んでいきたいと思えます。

講師の皆様の素晴らしい講演、また多くの自治体の議員や関係者が集い、それぞれの課題を共有することができました。大変勉強になりました。

今回、特に防災について多くのことを学ぶことができました。また更に議会の問題点等についても勉強させていただきました。

今後、本市においてもしっかりと現状を改善できるようにしていきたいと思えます。